

医療通訳専門技能認定試験

試験の形式・構成について

1 次試験

1 次試験は、【筆記試験】と【リスニング試験】の 2 科目を行います。

	試験科目	出題方法	出題数	試験時間
①	筆記試験	四者択一式、選択式	50～60 問程度	60 分
②	リスニング試験	選択式、記述式	30 問程度	約 20 分

① 筆記試験

試験の形式



- 出題形式は、四者択一式、選択式です。
- 設問は、[日本語] と [英語/中国語] で出題されます。
- 出題数は、50 問～60 問程度です。
- 試験時間は、60 分間です。

試験の構成



出題範囲	細目	出題数
○医療の基礎知識	医学概論、身体の仕組みと働き、疾患の基礎知識、検査に関する基礎知識、薬に関する基礎知識 等に関する設問 ※医療現場で行われる会話を正確に理解するために、各器官の名称や器官の仕組み、働きを理解し、主な疾患の原因と症状、治療方法についての基本的な知識を問うものとする。	25 問程度
○日本の医療制度に関する基礎知識 ○患者の文化的および社会的背景についての理解	日本の医療制度の特徴、社会保障制度、日本に暮らす外国人の現状、外国人医療の現状、外国人の在留資格と滞在ビザ 等に関する設問	5 問程度
○医療通訳理論 ○医療通訳者の自己管理 ○専門職としての意識と責任（倫理） ○医療通訳者のコミュニケーション力 ○通訳に必要な通訳技術 ○通訳実務	通訳理論、医療通訳者の役割、対話通訳と相互作用、医療通訳者の健康管理、感染症と感染経路、医療通訳者の心の管理、患者の権利・医療倫理、医療通訳者の行動規範、コミュニケーション・異文化コミュニケーション、対人コミュニケーション・患者との接し方、患者・医療従事者間の関係とコミュニケーション、健康や医療・コミュニケーションに関する文化的・社会的違い、医療通訳者の文化仲介、ノートテイキングの理論と技術、情報収集方法（用語集の作成と情報収集）、医療通訳業務の流れと対応、通訳者の立ち位置とその影響 等に関する設問	10 問程度
○言語能力	[日本語] および [英語/中国語] の文法・語彙に関する設問	20 問程度

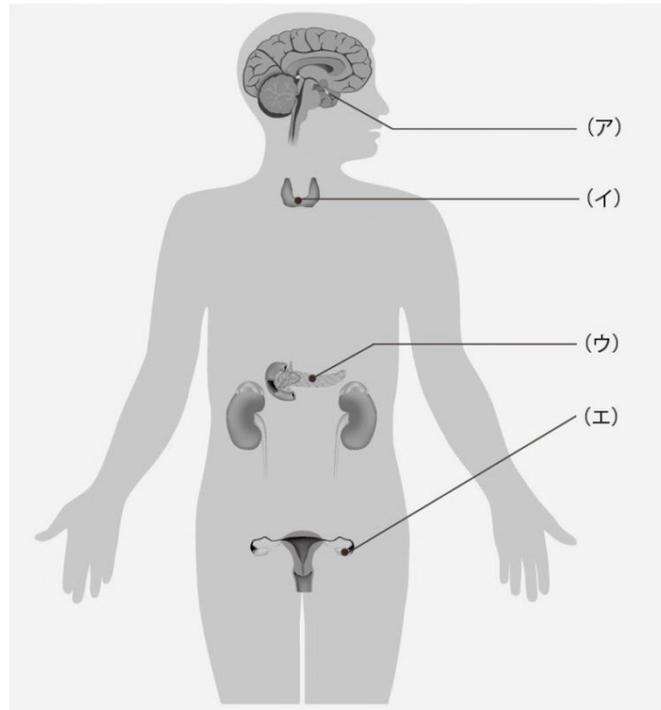
※出題数は、試験の実施回により多少変動します。

過去問題例

この過去問題例は、筆記試験の過去の出題内容から一部を抜粋したものです。

問題 For endocrine glands ア-エ in the picture choose the appropriate name (1-5) and hormone it excretes (A-E).
(英語 問題)

从 (1-5) 选择符合图中 (ア~エ) 的内分泌腺的名称，及从 (A-E) 选择其器官所分泌的激素的名称的最恰当的组合。(中国語 問題)



	【Gland names】	【Hormone names】
<英語 選択肢>	1) ovary	A) adrenaline
	2) thyroid gland	B) insulin
	3) pituitary gland /hypophysis	C) estrogen
	4) pancreas	D) somatotropin
	5) liver	E) calcitonin

	【腺体名】	【激素名】
<中国語 選択肢>	1) 卵巣	A) 腎上腺素
	2) 甲状腺	B) 胰岛素
	3) 脳下垂体	C) 雌激素
	4) 膵腺	D) 生长激素
	5) 肝脏	E) 抑钙素

問題 心室細動の説明として、適切なものをA～Dの中から一つ選び、記号を書きなさい。（英語・中国語 共通問題）

- A) 心室が無秩序に乱れ、小刻みにふるえ血液を全身に送れなくなった状態。
- B) 心室の異常な興奮により、頻脈となり、不整脈があらわれる状態。
- C) 心房が無秩序に乱れ、リズムが不規則となる状態。
- D) 心室の異常な興奮により、早く収縮が起こる状態。

問題 産科医療補償制度は、分娩に関連して重度脳性麻痺となった子どもと家族の経済的負担の補償、脳性麻痺発症の原因分析などを行う制度であるが、この制度の加入者について、適切なものをA～Dの中から一つ選び、記号を書きなさい。（英語・中国語 共通問題）

- A) 妊娠した女性
- B) 生まれた子ども
- C) 分娩に立ち会った医師
- D) 分娩を扱う医療機関

問題 医療通訳者の役割として、適切なものをA～Dの中から一つ選び、記号を書きなさい。（英語・中国語 共通問題）

- A) 言語や文化の異なる医療従事者と患者間のコミュニケーションを促進する。
- B) より良い治療が受けられるよう社会的立場の弱い外国人患者を擁護する。
- C) 異文化において患者が満足いく治療が受けられるよう道案内する。
- D) 患者が適切な治療を受けられるよう異文化に由来する誤解を解決する。

問題 In order to fill in the blanks of each sentence below, select the best choice from among A to D.（英語 問題）

- () taken, medications are distributed from their sites of absorption to ones of action.
- A) Having B) Once C) Unless D) Where

問題 下列句子中没有错误的是哪儿一个()（中国語 問題）

- A) 为了减轻胃的负担，先稍微有一点吃什么食物后再吃药。
- B) 药和酒精类一起喝的话，作用会一点增强，会有危险一点儿的情况。
- C) 若接近下次的服药时间的话，先服药，然后一点点错开以后的服药时间。
- D) 您的症状比较严重，慎重起见一点儿，化验一下血。

問題 ()に入れる言葉として、適切なものをA～Dの中から一つ選び、記号を書きなさい。（英語・中国語 共通問題）

- () よろしくお伝えください。
- A) くれぐれも B) つくづく C) しみじみと D) いよいよ

② リスニング試験

試験の形式



- 出題形式は、選択式、記述式です。
- 設問は、[日本語] と [英語／中国語] で出題されます。
- 出題数は、30 問程度です。
- 試験時間は、20 分程度です。

試験の構成



リスニング試験は、以下の問題Ⅰ～Ⅲの三部構成になっています。

問題	内容	出題数
問題Ⅰ	患者に対する医師の説明を [日本語] で聞いて、[英語／中国語] の設問に回答する問題	10 問程度
問題Ⅱ	患者の発話を [英語／中国語] で聞いて、[日本語] の設問に回答する問題	10 問程度
問題Ⅲ	単語の聞き取り問題 ([日本語]、[英語／中国語])	10 問程度

※出題数は、試験の実施回により多少変動します。

備考：

- ・リスニング試験の音声は、1 度のみ放送されます。
- ・問題文、設問とも、音声で放送されます。
- ・設問の放送を聞いた後に、解答用紙に記入する時間があります。

2次試験

2次試験は、【長文逐次通訳試験】と【対話通訳試験】の2科目を行います。

	試験科目	出題方法	出題数	試験時間
対話通訳	① 長文逐次通訳試験	対面式	2題	全部で 30分程度
	② 対話通訳試験	対面式	1設定	

① 長文逐次通訳試験

試験の形式



○ 受験者と試験官の対面式で実施します。

※試験官2名・・・ [英語/中国語] 担当1名 [日本語] 担当1名

○ 試験官の発話（[英語/中国語] および [日本語]）を聞いて、訳した内容を発話します。

試験の構成



試験内容

問題	内容	出題数
[英語]	150 words 程度の [英語] の発話を〈日本語〉に訳します。	1題
[中国語]	210 語程度の [中国語] の発話を〈日本語〉に訳します。	
[日本語]	300 語程度の [日本語] の発話を〈英語/中国語〉に訳します。	1題

※実施時間：10 分間程度（各言語に 5 分間程度の制限時間があります）

<過去に出題されたテーマ>

- ◎ 糖尿病患者の病歴
- ◎ 入院手続きに関する説明

備考：

- ・ 試験中、指定のメモ用紙にメモを取ることができます。
- ・ 試験中、辞書・資料を使用することができます。
- ・ 試験官の発話を途中で区切ったり、聞き返しをすることはできません。

評価基準

通訳行為	忠実性/正確性 起点言語に正確である	言語的内容を正確に理解し、適切に反映した訳出である (情報の抜けや追加がないこと) 文法的間違いがない 専門用語を正しく理解し訳出している
	明瞭さ 通訳言語として聞きやすい	簡潔で明瞭である 聞きやすいイントネーションやアクセントである
	等価 話し手の意図が反映されている	発話者の意図を正確に理解し、適切に反映した訳出である
	通訳技能	適切なノートテイキングができる

※テキスト「医療通訳」P189「通訳パフォーマンスの評価」を基準としています。

② 対話通訳試験

試験の形式



○ 受験者と試験官の対面式で実施します。

※試験官2名・・・外国人患者役 [英語/中国語] 担当1名 医師役 [日本語] 担当1名

○ 医師役と外国人患者役の試験官が行う診療場面での対話を、受験者が逐次通訳します。

試験の構成



試験内容

○ 実際の通訳実務場面と同様に、医師役と外国人患者役の対話の内容に沿って受験者が逐次通訳を行います。

※主として【二次・三次医療機関】での対話場면을想定しています。

※実施時間：10分間程度（シナリオの内容により所定の制限時間があります）

<過去に出題されたテーマ>

- ◎ 虫垂炎の患者に対する手術の説明時の対話
- ◎ 脳梗塞の疑いのある患者に対するMR I検査の説明時の対話

備考：

- ・試験中、指定のメモ用紙にメモを取ることができます。
- ・試験中、辞書・資料を使用することができます。

評価基準

通訳行為	忠実性/正確性 起点言語に正確である	言語的内容を正確に理解し、適切に反映した訳出である (情報の抜けや追加がないこと) 文法的間違いがない 専門用語を正しく理解し訳出している
	明瞭さ 通訳言語として聞きやすい	簡潔で明瞭である 聞きやすいイントネーションやアクセントである
	等価 話し手の意図が反映されている	発話者の意図を正確に理解し、適切に反映した訳出である
	通訳技能	適切なノートテイキングができる
コミュニケーション 行為	コミュニケーションとしての 成功	非言語コミュニケーション(話し方と態度)は適切である 適切なタイミングで通訳できる 必要に応じて適切な対処ができる

※テキスト「医療通訳」P189「通訳パフォーマンスの評価」を基準としています。